

兵庫教育大学



学 報

第258号
平成16年 1月

題字 中洲正堯学長



附属小学校・中学校・幼稚園外部評価委員会の実施（関連記事 7頁掲載）

目 次

年頭の辞 2
 教員就職率全国第2位 4
 学事 5
 ・平成16年度大学院学校教育研究科修士課程合格者状況等
 ・平成15年度科学研究費補助金の交付決定（追加採択）
 ・奨学寄附金

諸報 6
 ・運営評議会・教授会・学校教育研究科委員会
 ・連合学校教育学研究科代議委員会
 ・附属小学校・中学校・幼稚園外部評価委員会の実施
 ・平成15年度交通安全講習会を開催
 ・サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業（S P P事業）「正12面体の対称性」の実施
 主要日誌 8

- 年 頭 の 辞 -



学 長 中 洌 正 堯

古さと新しさ

「手毬(てまり)」「独楽(こま)」「追羽子(おいはね)」「正月の凧」「歌留多(かるた)」「絵双六(えすごろく)」,これらは,新年の季語です。

この季語から連想される風景・風俗と,現在の正月の一般的な風景・風俗とを並べてみて,その間の移ろいの意味を考えてみませんか。もちろん懐古趣味的にはなくです。

と言ってみました,提案している私自身は,季語からの連想の可能な世代ですが,現在のゲームソフト的な世界には疎いのです。反対に,季語からの連想がしにくい世代もあると思われます。提案の実践のためには,両者が情報を提供し合う語りの場の設定が必要かもしれません。

提案の本旨は,古さと新しさの間にある移ろいの意味の測定にあります。正月の風景・風俗の新旧比較は,その一つの事例に過ぎません。

ニーズとしかけ

年々歳々,冠婚葬祭は行われます。ここにも,古さと新しさがあり,その間の移ろいがあります。結婚式一つにしても,その移ろいの中で,式をあげようとする若者がこうしたいと願っていること(ニーズ)と,企業ベースで勤めること(しかけ)とのせめぎ合いが見られます。

何が本質的なことなのか,だれが,いつ取り決めたことなのか,なぜこうしてはいけないのかなどと問いかけつつ,意味のあることとむだなことを分けようします。一方で,与えられたマニュアルどおりに進む安心感と,マニュアルを超えて創り出す新鮮さとがせめぎ合います。

冠婚葬祭とはいっしょになりませんが,今や大

学の研究・教育においても,古さと新しさ,その間にある移ろい,移ろいをもたらすニーズとしかけについて考えつづけ,実践しつづける時代に突入しています。

国立大学法人兵庫教育大学

国立大学の法人化は,国家社会の構造改革からのしかけとして生じたものです。従来の護送船団方式から,自ら進路,航程を定めて切り盛りする自主的,主体的運営方式への転換です。

運営費交付金等の財政面のことは,いずれなんらかの決着を見ることとなりますが,どうなっても自主的,主体的運営のための方略と実行は,文字通り懸命の(積極的にはやりがいのある)ことです。運営上の目標を端的に示せば,次のように集約できます。

- 1 研究(教育実践学)の成果をいっそう着実にあげること
- 2 特色のある教育内容をもつ教育課程,専攻コースへとたえず更新すること
- 3 学生に実践的な指導能力,研究能力をつけること
- 4 教育実践ネットワーク(内外)によって実践研究成果の交流をはかること
- 5 競争的資金,外部資金等の積極的な導入をはかること

これらの目標を,どのような方略をもって実行に移すかです。

平成16年度,特に大学院ですでに予定されているものは,

「学校心理コース」を新設
新制度(長期履修学生制度/小学校教員養

成プログラム)を導入

神戸サテライトの「昼夜開講制コース」を
拡充

新しい教育内容(生活・健康系コース)に
改善

の四つであり、「兵庫教育大学教育実践ネットワ
ーク」の本格運用も開始します。

言うまでもなく、法人前からの各講座、各セン
ター等が積み上げてきた研究・教育の実績(遺産)
とともに、

ア 地域貢献特別事業の実施

イ eラーニングの積極的な活用

ウ 各講座、学内各センター及び附属学校園等
の連携による実践研究の推進

エ 学外各機関(他大学を含む)との教育実践
に係わる共同研究の推進

オ 研究拠点形成のためのプロジェクト研究の
推進

を引き継いでいきます。

専門職大学院

平成17年度以降の新機軸として期待されるの
は、専門職大学院に照準をおいた「特色のある教
育内容をもつ教育課程、専攻コース」(先の目標
の2)の設置です。

現在検討中のもの(学校指導職専攻、発達支援
教育指導者専攻、学校教育実践コーディネータ専
攻、健康・安全教育スペシャリスト専攻)から、
先導的に出発するもの、再編をめざすもの、新し
く立ち上げるものなどの気運が生じています。

専門職大学院は、先の目標の2や3を実質的に
達成するシステムとして期待されるものですが、
私には、目標の1の「教育実践学」の新しい局面
を拓くものという期待もあります。ここでは、先
の「古さと新しさの間にある移ろいの意味の測定」
がしっかりなされる必要があります。

専門職大学院の専攻を構想するとき、問われる
のが社会のニーズです。このニーズを把握する
とき、先の「ニーズとしかけ」が考えられます。

時代社会の趨勢の中で生成されるニーズ、それ

は、自ずから成るニーズと、しかけによって生じ
るニーズとがあるのではないのでしょうか。わが国
の教育の行末を洞察し、大学からはたらきかけ、
説得力をもってニーズを形成する気概をもちたい
ものです。

大学構成員の任務

国立大学法人によって自主的、主体的運営方式
が採用されたとき、同時に、私は、大学構成員一
人ひとりがこの職場で果たすべき役割を自覚し、
必要に応じて説明する立場におかれたと考えまし
た。つまり、これまでの大学人としての通常の勤
務に加えて、各自がこの大学の維持につながる自
分の中期目標・中期計画をもつ必要がある考えた
のです。

先に述べた大学運営上の目標の5点の達成は、
大学院の学生確保にも、学部生の就職率の向上に
もつながるはずですが。その一つひとつについて、
自分ならこういうかたちで対応するとお答えいた
だきたいのです。

たとえば、次のようにです。 - 学部の「特色
のある教育内容」として、自分は「体験学習カリ
キュラム」を考える。よく生きるための技術を伴
う体験学習は、教員就職にも、就職後にもきつと
役立つ。身体活動体験(自然、冒険、演劇、ボラ
ンティア等)の系列、ものづくり体験(遊戯的、
生活的、産業的、芸術的等)の系列を学部4年間
にわたって組織し、学生の教育実践力に培う。こ
れの実現のためには、学内の有志と協議しなくて
はならないが、まず初年度は自分の担当している
授業科目の内容の改造から着手する。 -

平成16年度、目標の実行方略として ~ があ
ります。方略の引き継ぎとしてア~オがあります。
平成17年度、専門職大学院に照準をあてた先導的
出発の気運が高まりつつあります。

大学のこれらの動きと各自の中期目標・中期計
画が交響すれば、大学の動輪は加速します。

EX-ℓ:office-president@office.hyogo-u.ac.jp

- 教員就職率全国第2位 -

文部科学省は、平成15年12月17日に国立の教員養成大学・学部（教員養成課程の平成15年3月卒業者について、平成15年9月末現在までの就職状況を公表した。これによると、臨時講師など期限付きを含む教員就職者は6,111人で、卒業者に占める割合は52.2%となった。教員就職率が50%を超えたのは9年ぶり。

本学の教員就職率は、昨年度より1.4%アップの69.9%に上昇したが、惜しくも0.01%の差で全国第2位となった。（昨年度は、68.4%で全国第1位）

正規教員就職率は30.6%（前年度比6%アップ）と健闘した。今後は正規教員就職率の一層の向上と、他府県へ教員就職を広げることが課題となっている。

就職相談室では、引き続き各種の就職セミナーや対策講座等を企画・実施すると共に、教員採用試験の複数受験の推進等、教員就職率の一層の向上を図っていくものである。

新規卒業者の教員就職率の高い大学ランキング

第1位	信州大学	69.9%
第2位	兵庫教育大学	69.9%
第3位	愛知教育大学	67.0%
第4位	北海道教育大学	63.9%
第5位	福島大学	62.9%

本学の平成15年3月卒業者の就職状況

区 分	就 職 者			その他 就職者	進学者 及び その他	計 (卒業者)
	教 員 就職者	左 の 内 訳				
		正 規	期限付等			
本学の 平成15年3月 卒業者	人 146 (69.9%)	人 64 (30.62%)	人 82 (39.23%)	人 22 (10.5%)	人 41 (19.6%)	人 209 (100%)

(注) 1 平成15年9月末までの状況を取りまとめたものである。

2 国公私立の小，中，高等，特殊教育諸学校，幼稚園の教員就職者数である。

3 ()は，卒業者に対する割合(%)である。

- 学 事 -

平成16年度大学院学校教育研究科修士課程合格者状況等

平成16年度大学院入学者選抜試験〔後期選抜〕を11月15(土)及び16日(日)に実施し、12月5日(金)に合格者を発表した。

合格者数等は次のとおりである。

1 専攻・コース別合格者数等

専攻・コース		募集人員	応募者数	受験者数	合格者数
		人	人	人	人
学校教育専攻	教育基礎コース	9	2	2	1
	教育経営コース	2	4	2	2
	教育方法コース	2	2	1	1
	生徒指導コース	2	2	2	2
	幼年教育コース(昼間クラス)	2	4	4	2
	幼年教育コース(夜間クラス)	若干人	2(2)	2(2)	2(2)
	学校心理コース(昼間クラス)	若干人	1	1	1
	学校心理コース(夜間クラス)	10	11(7)	11(7)	11(7)
教育臨床心理コース(夜間クラス)	15	57(15)	52(14)	17(9)	
障害児教育専攻		5	5(1)	5(1)	5(1)
教科・領域教育専攻	言語系コース(昼間クラス)	5	5	5	1
	言語系コース(夜間クラス)	若干人	4(2)	4(2)	4(2)
	社会系コース(昼間クラス)	5	12(3)	10(3)	10(3)
	社会系コース(夜間クラス)	若干人	3(3)	3(3)	3(3)
	自然系コース(昼間クラス)	4	3	2	2
	自然系コース(夜間クラス)	若干人			
	芸術系コース	11	7	7	6
	生活・健康系コース(昼間クラス)	4	4(1)	4(1)	4(1)
	生活・健康系コース(夜間クラス)	若干人	5(3)	5(3)	5(3)
	総合学習系コース(昼間クラス)	若干人	7(4)	7(4)	8(4)
	総合学習系コース(夜間クラス)	7	1(1)	1(1)	1(1)
合 計	83	141(42)	130(41)	88(36)	

(注) 1. 応募者数及び受験者数は、第1志望によるものを示す。

2. ()内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)を内数で示す。

3. 印を付した合格者数には、第2志望によるものを含む。

2 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)の合格者の所属学校種別内訳

計	内 訳					
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	幼稚園	他
36	9	6	13	5	3	0

3 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)の合格者の教職経験年数別内訳

計	内 訳		
	3年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
36	10	14	12

平成15年度科学研究費補助金の交付決定（追加採択）

課題番号	研究課題名	研究代表者		交付決定額 (千円)
		職名	氏名	

基盤研究（B）（2）

15300278	「確かな学力」を保護者と教師が支援するユビキタス遠隔指導システムの開発	教授	成田 滋	3,500
----------	-------------------------------------	----	------	-------

基盤研究（C）（2）

15500623	世界と共鳴し地域に開く学校の通信基盤開発に関する研究	教授	長瀬 久明	2,200
15500683	風成塵からみた西日本における最終間氷期以降のモンスーン復元	教授	成瀬 敏郎	1,100

奨学寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額(円)
米日財団東京事務所 所長 詫摩 武雄	社会系教育講座教授 佐々木正道	初等中等教育の場における国際理解教育の実施に関しアメリカ合衆国を対象とした教員研修のための助成	13,828,880 (1月,5月,8月の 3回分割納付)

- 諸 報 -

運営評議会

第11回 平成15年12月10日（水）

（議題）

- 1 教員の選考開始等について
- 2 平成16年度大学院学校教育研究科（修士課程）第2次学生募集要項について
- 3 大学院神戸サテライトにおける平成17年度から開設する専攻・コースについて
- 4 兵庫教育大学資源配分検討委員会中間報告について
- 5 「大学洋上セミナーひょうご2004」について
- 6 大学院神戸サテライト授業担当講座等連絡会の設置について
- 7 新たな学生表彰の創設について
- 8 谷口教育研究奨励金による平成15年度の顕賞について
- 9 平成15年度卒業式・学位記授与式及び平成16年度入学式の日程について
- 10 平成16年度授業暦について
- 11 奨学寄附金の受入れについて

教授会

第8回 平成15年12月10日（水）

（議題）

- 1 教員選考委員会の設置等について
- 2 成績評価における評価区分及び評語の改定について
- 3 学校教育学部授業科目の新設改廃等について
- 4 学校教育学部授業科目の履修方法及び標準履修年次の変更について
- 5 平成16年度学校教育学部開設授業科目等について

学校教育研究科委員会

第8回 平成15年12月3日（水）

（議題）

- 1 平成16年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験等〔後期選抜〕の合否判定及び長期履修学生（夜間クラス）の許可について
- 2 平成16年度大学院学校教育研究科第2次学生募集について

第9回 平成15年12月10日(水)

(議題)

- 1 平成16年度大学院学校教育研究科(修士課程)第2次学生募集要項について
- 2 成績評価における評価区分及び評語の改定について
- 3 平成15年度論文審査委員会委員候補予定者について
- 4 大学院学校教育研究科担当判定委員会の設置について
- 5 平成16年度大学院学校教育研究科授業科目担当教官の変更等について
- 6 外国人研究生の入学について

連合学校教育学研究科代議委員会

第7回 平成15年12月3日(水)

(議題)

- 1 論文提出による博士の学位論文審査委員会の設置について
- 2 博士候補認定試験の実施について
- 3 成績評価における評価区分及び評語の改定について
- 4 平成16年度授業時間割表について
- 5 平成16年度入学者選抜試験出願資格認定審査について
- 6 研究科研究生の入学について
- 7 国立大学法人化に伴う連合研究科関係規則等の制定について

附属小学校・中学校・幼稚園外部評価委員会の実施

12月13日(土), 本学学校教育研究センターを会場として附属小学校・中学校・幼稚園外部評価委員会を実施した。午前中は施設設備の整備及び安全管理面について, 附属小学校, 幼稚園, 中学校の視察を行った。午後からは, 岡山大学教育学部長の田中宏二教授を委員長とし, 陰山茂(小野市教育委員会教育長), 川名善三(小野商工会議所), 井上義則(大阪教育大学附属天王寺小学校副校長), 貴田善澄(全国私立幼稚園連合会近畿地区会長)の各委員から, それぞれの評価項目について貴重な意見や提言が述べられた。(楠武人(兵庫県中学校長会長)*都合により欠席)

平成15年度交通安全講習会を開催

12月3日(水), 共通講義棟108教室において平成15年度交通安全講習会が, 学生・教職員約100人の参加のもと開催された。

はじめに学生委員会副委員長の松本教授から校内での交通ルールについて指導が行われた。引き続き, 社警察署八木総務係長から身近な交通事故の実例をもとに事故を事前に防止するための心構え, 交通マナーについて講話が行われた後, ビデオ「無謀運転の代償」が上映された。最後に交通ルールについて活発な質疑応答が行われ, 予定時間を30分以上もオーバーする有意義な講習会となった。



サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業(SPP事業)「正12面体の対称性」の実施
12月21日(日), 23日(火)及び25日(木)の3日間にわたり「正12面体の対称性」をテーマに同事業(教育連携講座)が兵庫県立福崎高等学校の1年生30人の参加のもと, 本学で実施された。

今回の連携講座は, 平成14年度SPP事業として実施した「数学入門」の発展型として開講され, 自然系教育講座の濱中助教授及び加藤助手が, 正12面体の対称性について, 単なる講義だけではなく, 模型の作成や手と目を通じた理解ができるような趣向をこらした授業・実習を行った。参加した高校生からは「面白かった」「またこのような授業に参加したい」と大好評を得た。



- 主要日誌 -

月 日	事 項
12月2日(火)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第38回) 資源配分検討委員会 学内講演会「芸術教育に基づく文化マネジメントの意義と可能性について」
12月3日(水)	研究科委員会(第8回) 学部教務委員会(第8回) 連合学校教育学研究科代議委員会(第7回) 学校教育研究センター運営委員会(第7回) 外国人研究生選考委員会 交通安全講習会 教職講座 就職セミナー(第4回)
12月4日(木)	国立大学法人化準備状況に関する全学説明会(大学) S C S 運営委員会 附属図書館運営委員会
12月5日(金)	学部入学試験委員会(第6回) 附属学校運営協議会 大学院入学者後期選抜試験合格者発表
12月6日(土)	公開講座「発達が気になる子どもの家庭療育の方法」
12月8日(月)	国立大学法人化準備状況に関する全学説明会(附属学校) eラーニング研究開発WG(第6回)
12月9日(火)	学生寄宿舍棟長会
12月10日(水)	運営評議会(第11回) 教授会(第8回) 学校教育研究科委員会(第9回) 学部推薦入学願書受付(~17日) 日本育英会返還説明会 教職講座 教職に就く人のための説明会
12月12日(金)	大学院入学試験委員会(第8回) 学生寄宿舍棟長会
12月13日(土)	附属小学校・中学校・幼稚園外部評価委員会
12月15日(月)	実地教育委員会(第5回) 平成15年度会計内部監査(~26日)
12月16日(火)	連合大学院入学願書受付(~22日)
12月17日(水)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第39回) 専門職大学院設置検討委員会(第3回) 教職講座

12月18日(木)	S C S 運営委員会 ファカルティ・ディベロップメント推進委員会(第6回) 附属小学校・中学校結核対策委員会 実地教育・実地研究等に関する連絡協議会
12月19日(金)	入学者選抜方法研究委員会(第1回) 学内講演会「武道文化とその教育的意義について」,及び居合道演武
12月21日(日)	S P P 事業「正12面体の対称性」
12月23日(火)	S P P 事業「正12面体の対称性」
12月24日(水)	学部入学試験委員会(第7回) 学部教務委員会(第9回) 大学院教務委員会(第9回) 公開講座等委員会(第3回) 附属小学校学校評議員の会
12月25日(木)	大学院神戸サテライト授業担当講座等連絡会(第1回) S P P 事業「正12面体の対称性」

編集発行 兵庫教育大学総務部庶務課

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

電話 代表(0795)44-1101

(この印刷物は,再生紙を利用しています。)